

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和4年3月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:102)
2. 調査実施時期 令和4年3月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)

5. 調査結果(回答工場数:90社 / 回答率:88.2%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
R3.6	-47	<i>-56</i>	<i>-51</i>	-	-	-
R3.9	-	-35	<i>-43</i>	<i>-41</i>	-	-
R3.12	-	-	-53	<i>-51</i>	<i>-56</i>	-
R4.3	-	-	-	-45	<i>-54</i>	<i>-56</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
当年	134,141	147,619	135,152	-	-	-
(前年)	204,586	195,021	148,160	144,450	134,141	147,619
対前年比	66%	76%	91%	-	-	-

(概況)

原木在庫量は前年より少ない状況が続いている。引き続き製品受注が順調なため、原木在庫は前年を大きく下回る見通し

(回答企業の主なコメント)

原木不足/ウクライナ情勢の影響で原木の確保が困難/春先まで原木不足が続く見通し/従来の流通では手当てできない/カラより在庫ある/適木不足/品薄かつ高価/価格は高値安定/秋まで原木不足の見通し

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
R3.6	63	<i>54</i>	<i>40</i>	-	-	-
R3.9	-	78	<i>64</i>	<i>25</i>	-	-
R3.12	-	-	64	<i>44</i>	<i>15</i>	-
R4.3	-	-	-	35	<i>26</i>	<i>5</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
当年	217,936	231,240	249,282	-	-	-
(前年)	186,163	176,723	192,692	187,454	217,936	231,240
対前年比	117%	131%	129%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年より多い状況が続いている。受注状況は落ち着きも見られるが、引き続き製品荷動きは前年を上回る見通し

(回答企業の主なコメント)

見通し明るい/乾燥材しか売れない/ウクライナ情勢の影響で道産材需要高まると予想/荷動き良好/樹種指定なければトドメインで製材/建築材荷動き悪い/梱包材荷動き悪い/製品の値上げが追い付かない

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
R3.6	-47	<i>-58</i>	<i>-53</i>	-	-	-
R3.9	-	-26	<i>-46</i>	<i>-44</i>	-	-
R3.12	-	-	-65	<i>-67</i>	<i>-73</i>	-
R4.3	-	-	-	-70	<i>-76</i>	<i>-72</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
当年	206,179	175,588	132,958	-	-	-
(前年)	284,076	279,855	229,770	242,886	206,179	175,588
対前年比	73%	63%	58%	-	-	-

(概況)

原木在庫量は前年より少ない状況が続いている。引き続き製品受注が順調なため、原木在庫は前年を大きく下回る見通し

(回答企業の主なコメント)

ラミナ向け適木が不足/春先まで在庫不足が続く見通し/冬山造材で手当てできていない/原木の取り合いになり価格上昇/入手困難で土場に在庫がない/安定供給を希望/厳しい状況が継続/価格高騰

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
R3.6	80	<i>73</i>	<i>44</i>	-	-	-
R3.9	-	76	<i>76</i>	<i>45</i>	-	-
R3.12	-	-	66	<i>48</i>	<i>26</i>	-
R4.3	-	-	-	42	<i>34</i>	<i>12</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9
当年	247,874	253,036	227,047	-	-	-
(前年)	204,668	203,342	224,155	222,949	247,874	253,036
対前年比	121%	124%	101%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年を上回る状況。引き続き製品受注は旺盛なため、製品荷動きは前年を上回る見通し

(回答企業の主なコメント)

ラミナ中心の製材を予定/旺盛な注文が続く見通し/原木入荷が少なく受注調整が必要/梱包材の注文は落ち着き/原木不足により工場を止める可能性/受注は安定/人手不足で注文を断るケースも

道内の木材需給の見通し（令和4年3月調査分）

—令和4年5月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

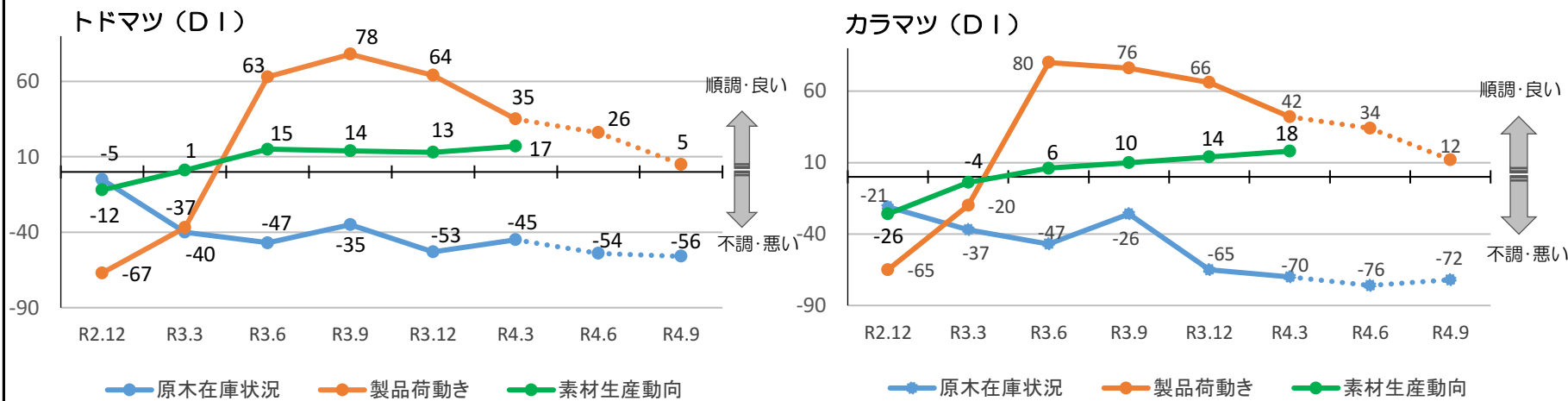
	《1~3月》	《4~9月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を下回っており、4月以降も前年を大きく下回る見通し。	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を上回り、4月以降は前年を上回る見通しも下降傾向。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく下回っており、4月以降も前年を大きく下回る見通し。	《製品荷動き》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を上回り、4月以降は前年を上回る見通しも下降傾向。	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《1~3月》	《4~9月見通し》		《凡例》
トドマツ			○素材生産動向は、「順調」39%、「並み」51%、「不調」10%となっており、順調の見通し。	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○素材生産動向は、「順調」41%、「並み」49%、「不調」10%となっており、順調の見通し。	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

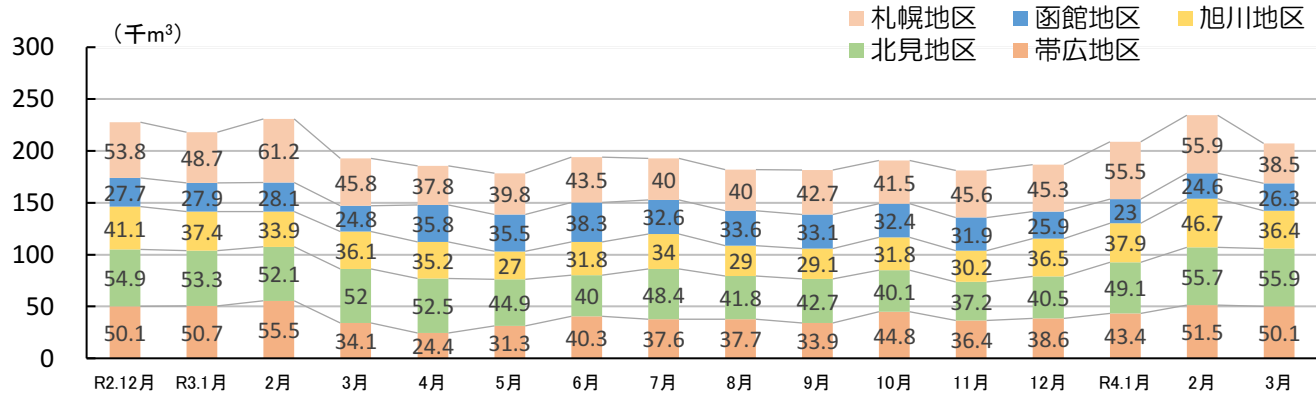


《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

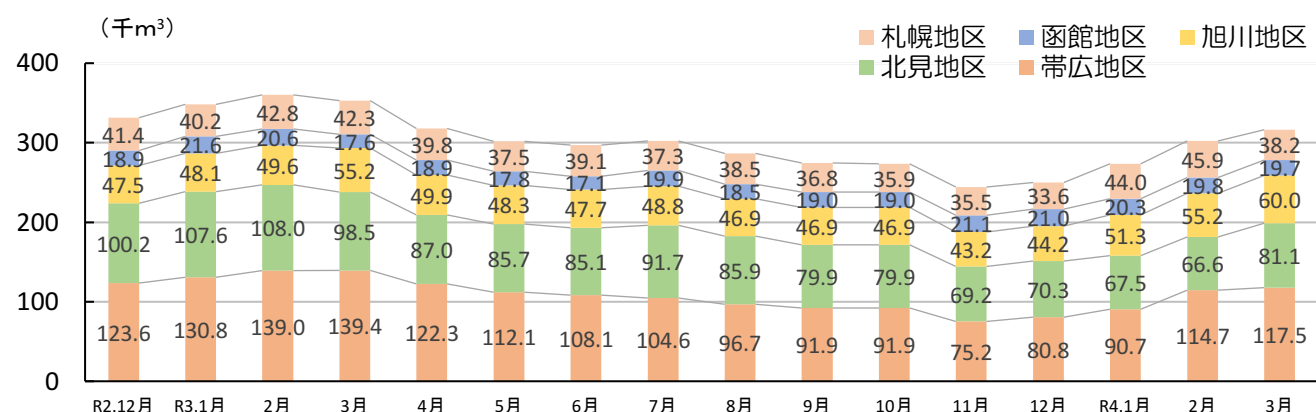
- 3月の素材生産量は前月比27.2km³減の207.2km³
- 4月は前月比34.9km³減の172.3km³の見通し
函館地区以外で減る見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

- 3月のトドマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み
- 3月のカラマツ原木在庫量は前年同月を下回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR4.1~3月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

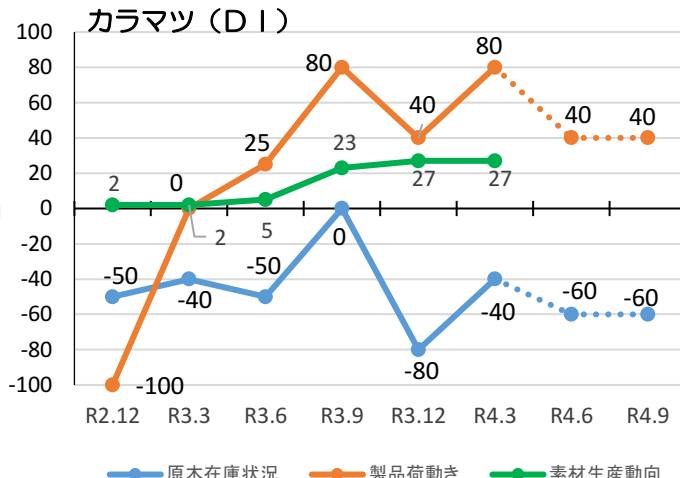
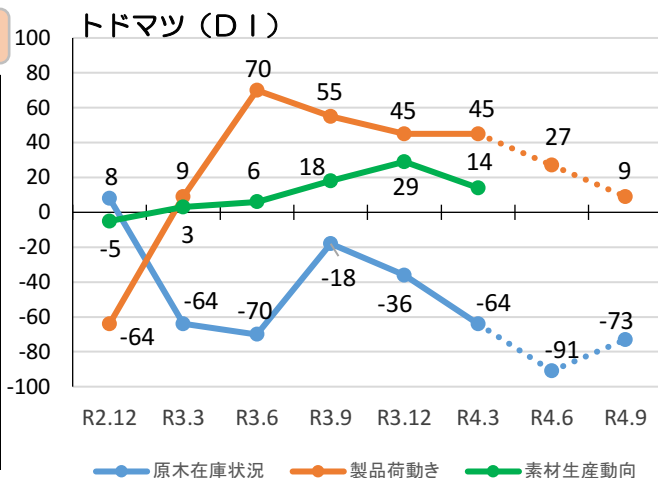
札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回る見通し



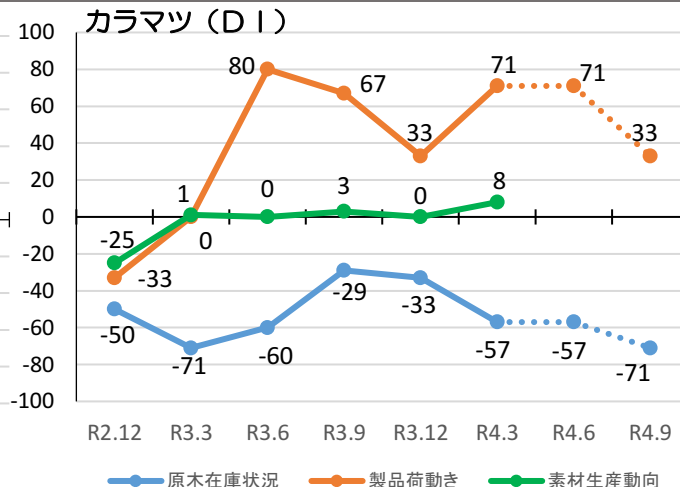
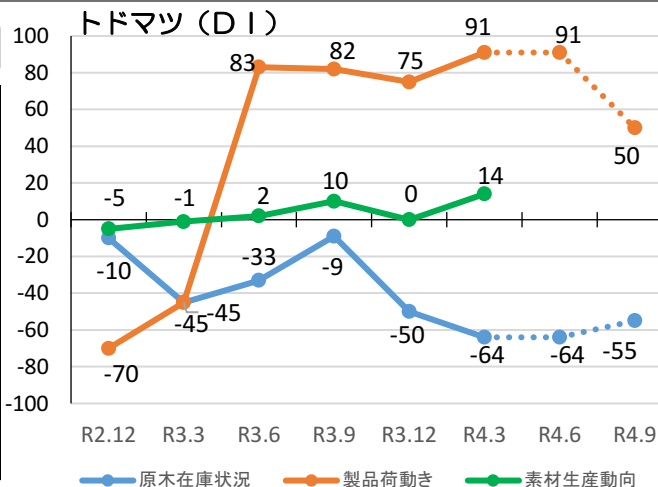
函館地区 (渡島・檜山・後志)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回る見通し



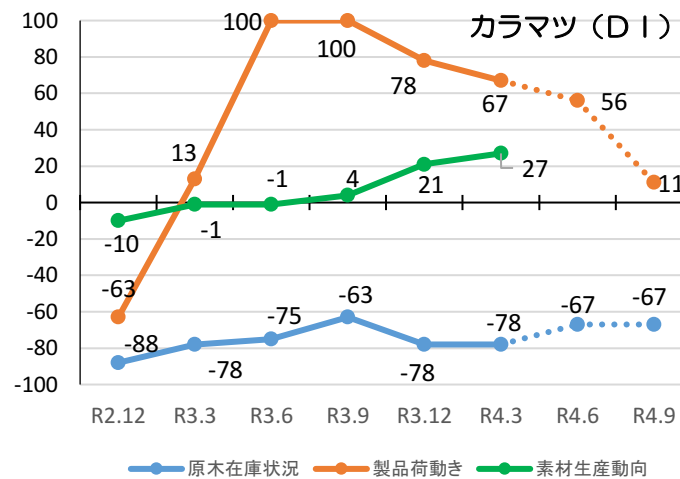
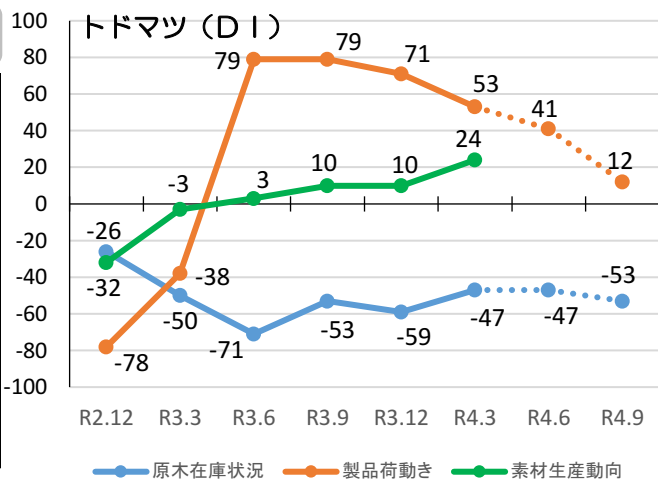
旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し



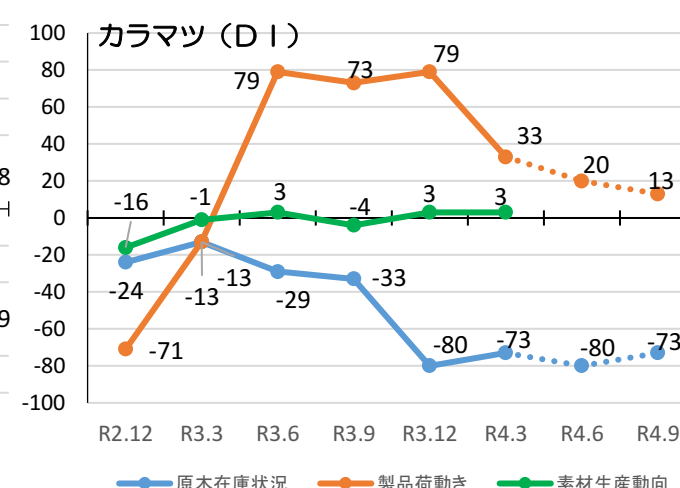
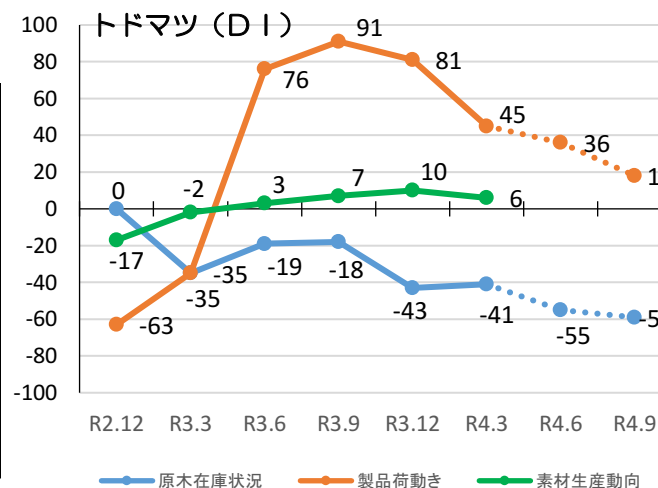
北見地区 (オホーツク)

【トドマツ】

- ・素材生産は、並みの見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、並みの見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年並み見通し

